

留 学 報 告 書

記入日:2014年6月29日



所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部 経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: メンフィス大学 現地言語: University of Memphis
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2014年5月27日
明治大学卒業予定年	2016年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬～12月初旬 2 学期:1月中旬～5月初旬
学生数	約22,725名
創立年	1912年

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	\$ 6,400(通年)	円	
食費	\$ 5,000	円	
図書費		円	
学用品費	\$ 500	円	教科書等
教養娯楽費		円	
被服費	\$ 1,000	円	
医療費		円	
保険費		10万円	形態:学校指定保険
渡航旅費	\$ 1,000	円	
雑費	\$ 800	円	
合計	\$ 14,700	10万円	

渡航関連

渡航経路: 行き 成田空港～アトランタ国際空港～メンフィス国際空港
 帰り メンフィス～ダラス国際空港～シアトル・ダコマ国際空港～羽田空港

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	約15万円
復路	約12万円
合計	27万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の近くの寮(Carpenter Complex)

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数4人)

3) 住居を探した方法:

大学側が提供してくれる資料の中から、最も通学に都合のいい立地を探して決めました。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

住み心地は悪くないです。立地も大学にとっても近いので、通学がとても楽だと感じました。
 基本的には共同部屋1つに個室が4つの相部屋ですが、ルームメイトが気に入らなければ最初の1ヶ月なら変えることができます。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

大学の友達に相談をしていました。大学内にアシスタントなる人とそのオフィスがありますが、あまりラブラルに巻き込まれなかったので利用する機会は少なかったです。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

学内専用のEメールアドレスにそのような情報が常に送られてくるので、それを見て対応しました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的に学校の棟の中であればどこでもWi-Fiはつながります。寮でもしっかりつながってくれます。ただ寮によってその度合いが違うというのは他の人から伺いました。僕が住んでいた寮はつながらないということはありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で作ったクレジットカードと現地で開設した銀行口座を併用していました。銀行口座は大学内にある銀行で身分を証明できる物を持って行けば簡単に作ることができます。その現地の口座に親に定期的に振り込んでもらっていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

近くに大学のジムがあるので、軽く運動できる水着も含めた運動着を持ってくるといいと思います。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他: 進級

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

留学は長いようで短いので準備と対策がその留学の成功を大きく左右すると思います。しっかりとした準備と対策さえできていれば、他人があまり経験できない体験をすることができると思うので頑張ってください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Health Care Economics	医療機関の経済学
科目設置学部・研究科	経済学科
履修期間	2013年8月～2013年12月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Albert A Okunade
授業内容	アメリカの医療制度や社会保障制度を経済の側面から分析する授業でした。ミクロ・マクロ経済学の知識も要求されます。
試験・課題など	試験は全部で4回定期的に行われます。課題は必須ではないですが、新聞の切り抜きを毎回読まされます。
感想を自由記入	授業自体は興味深く面白かったのですが、先生の喋り方にくせがあり、最初は慣れるのに大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Psychology of Personality	個性の心理学
科目設置学部・研究科	心理学科
履修期間	2013年8月～2013年12月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とディスカッション形式
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Robert Seals
授業内容	個性の心理学とはいってもやっている内容は幅広く、心理学を通じて自己分析をするという趣旨の授業でした。
試験・課題など	毎週始めに前週の小テストがありました。内容は前週の授業内容をしっかり聞いていれば問題ないです。大きなテストは中間と期末の2つで、その他にプレゼンテーションとリサーチペーパーの提出等もありました。
感想を自由記入	授業内容は難しかったのですが、先生がとても熱心で優しい方だったので、わからないところは聞いたりして助けてもらいました。とてもおもしろく、ためになる授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Psychology of Industrial and Organization		組織と産業の心理学	
科目設置学部・研究科	心理学科		
履修期間	2013年8月～2013年12月		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式とグループワーク形式		
授業時間数	1週間に85分が2回		
担当教授	Thomas J Nenon		
授業内容	組織の中の雇用やパフォーマンスの部分を心理学と統計学の側面からみるという授業でした。		
試験・課題など	3回の試験が定期的にあります。グループワークで行うプレゼンテーションもあり、そちらの比重が大きかったです。		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fundamental of Philosophy		哲学概論	
科目設置学部・研究科	哲学科		
履修期間	2013年8月～2013年12月		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に55分が3回		
担当教授			
授業内容	教科書を基に先生が講義していく授業です。哲学の起源から現代哲学まで一通り習います。		
試験・課題など	不定期で小テストがあります。テストは小論文形式は4回と期末に提出する論文が1つあり、その総合点で評価されます。		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
French		フランス語	
科目設置学部・研究科	フランス語学科		
履修期間	2014年1月～2014年5月		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に55分が3回		
担当教授	Megan Jane Zarshenas		
授業内容	基礎からフランス語の文法や語彙、それとカルチャーを習いました。		
試験・課題など	毎週不定期に教科書の内容の小テストや課題がありました。テストは全部で4回あり、さらに学期末にはプレゼンテーション発表がありました。		
感想を自由記入	新人の先生でしたが、とても熱心で一人一人の生徒に気を配っていました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principle of Marketing	マーケティング原理
科目設置学部・研究科	Marketing 学科
履修期間	2014年1月～2014年5月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	John Anthony Narcum
授業内容	マーケティングの基礎知識と現実でそれがどのように応用されているかを講義形式で学びました。
試験・課題など	大きなテストが4回ありました。さらに毎週授業で扱った内容がどのように現実で見ることができるかをレポートで提出していました。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Social Psychology	社会心理学
科目設置学部・研究科	心理学科
履修期間	2014年1月～2014年5月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	David A.Houston
授業内容	社会において個人が集団に及ぼす影響と役割、またその逆の集団が個人に与える影響などを、具体例や実験例を使って学ぶ授業です。
試験・課題など	テストは全部で3回あり、その3つのテストの合計と学期末に提出しなければいけないレポートの合計で評価されます。
感想を自由記入	授業内容もとても興味深いことばかりで、また先生も熱心な方で非常におもしろいです。個人的には一番取って良かった授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Supply Chain Management	サプライチェーンマネジメント
科目設置学部・研究科	SCM 学科
履修期間	2014年1月～2014年5月
単位数	3単位
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式&グループワーク
授業時間数	1週間に85分が2回
担当教授	Shawn Jones
授業内容	サプライチェーンマネジメントの基礎知識を題目ごとに順に学びます。またグループワークもあり、学期末にはそのグループで課された課題に対してやったことを発表します。
試験・課題など	テストはオンラインで計4回あります。定期的に小テストもあり、これもオンラインで出されます。
感想を自由記入	

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	説明会参加 留学に関する情報収集
8月～9月	TOEFL の試験勉強
10月～12月	TOEFL 受験 出願
2013年 1月～3月	面接 留学先への書類提出
4月～7月	留学先への書類提出 ビザの申請
8月～9月	出発 前期授業開始
10月～12月	秋休み 中間試験 期末テスト
2014年 1月～3月	後期授業開始 春休み
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	昔アメリカに住んでいたこともあり、海外生活をまたしてみたかったことが一番の動機です。もちろん自己の語学力をもっと伸ばしたいという理由もありましたが、それよりも 20 歳になる前のこの時期に、再度海外の文化や生活を体験しておくことが自分のこれからの人生を大きく左右すると考えたからです。4 年ある大学生活のうちの 1 年を海外で過ごすことは簡単にはできないことですし、他の人とはまた違った価値観が生まれると思いました。この留学を決断した理由は、人とは違う経験をして視野を広げることで、自分自身の価値を上げることができるだろうと考えたからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	日本の文化や日本語に興味を持っている外国人は思っている以上にたくさんいます。特に日本の歴史や政治について質問をしてくる学生をたびたび見かけました。細かいところまですべて網羅する必要はないと思いますが、ある程度の知識と情報があった方が、会話やディスカッションなどのものをスムーズにしてくれると思います。日本の文化や伝統についてより深い知識と、それを英語で伝えられる能力を簡単でもいいので持ち合わせておくといいと思います。
この留学先を選んだ理由	メンフィス大学の周りは自然にあふれている田舎ですが、大学自体の設備はとても充実しており、一年間しっかり勉強するにはとてもいい場所なのではと思います、ここを選びました。経済学や心理学など多岐にわたる方面でとてもいい評価をもらっていたようなので、そこも選んだポイントとして挙げられます。また、メンフィス自体が運搬や輸送などの拠点ともなっている場所なので、その方面の講義や授業が多く、関連した勉強もして良かったからという点も挙げられます。
大学・学生の雰囲気	大学内はとてもきれいで広いと感じました。学科ごとにそれぞれ棟が別れており、最初はどこがどこかわかりませんでした。先生の対応も良く、困ったことがあれば助けてくれる先生が多かったです。学生はみんな親切な人が多く、仲良くなるのに時間はかからなかったと思います。大学には専用のジムがあり、そこで日常的に運動ができます。カフェテリアは2つありますが、どちらも値段は高いです。
寮の雰囲気	寮では他の国の留学生たちの部屋に行き一緒に食事したり、ゲームをしたりして交流していました。それぞれの国の料理を食べたり話を聞いたりするので、とても面白いです。不定期ですが、時々寮の敷地内にある共同部屋での勉強会や、教授などのミニ講義が行われていました。
交友関係	最初は他の大学や国の留学生と一緒に行動することが多かったです。授業が始まると、次第にクラスで友達ができたりしました。日本人に興味がある学生はたくさんいるので、自然と時間が経っていくうちに周りにたくさん友達できました。前期はサッカーサークルのようなグループに参加していたので、そこでも交友関係を増やすことができました。後期は前期にできた友達に加えて、新しく来た他国の留学生と仲良くなりました。学外でも現地に住んでいる方と知り合いになって、その方々からパーティなどに誘われたりしていました。
困ったこと、大変だったこと	メンフィスは交通機関が充実していない車社会なので、食糧や衣服などを買いに行く際は友達の助けが必要不可欠でした。自分の好きな時間に買い物に行けないため、時々食糧不足になったことがありました。現地の人は車の送迎を決して面倒なものと思わないので、ためらわずお願いしてみることをおすすめします。また、大学から1セメスター有料で自転車も借りることもできます。ただし、自転車で行ける距離も限られます。あとは現地の人の会話に最初は苦労しました。南部特有のアクセントが強いため、時々聞きづらかったです。徐々に慣れますが、同じ日本人の留学生で最後までよく理解できなかった人もいたので、気をつけた方がいいです。
学習内容・勉強について	基本的に僕がとっていたクラスの大半が講義形式の授業形態だったので、最初の頃は先生が黒板に書くものと、先生が言っていることを同時進行で書き写すのが大変でした。テストは先生が授業中に言っていた言葉をしっかり聞いていれば、難しいということはありませんでした。宿題は個人で提出するものとグループで提出するものがありました。個人で出すものは個人の努力次第ですが、グループワークはグループ全体の評価が個人成績につながるため重要です。グループワークはチームワークがとても重要なので、しっかりグループの人とコミュニケーションを図りながら進めました。大変ですが、とてもいい勉強と経験になります。
課題・試験について	試験は基本的には授業内でやった範囲が出題されます。それ以上のことを求められたことはなかったので、しっかり勉強すれば納得できる点数はとれました。専門用語などの勉強は大変でしたが、授業が進むにつれて理解できるようになりました。課題提出はしっかり参考文献や文の引用等を求めてくるので、曖昧にはできずとても苦労しました。図書館にはそういった参考文献を探すスペシャリストの方々がいるので、その人たちに助けてもらったりもしました。

大学外の活動について	毎月約 2 回ほど、大学から少し離れた地域にある小学校や中学校で、日本の文化や日本語を教える活動をしていました。毎回プレゼンテーション形式で説明したり、日本の遊びなどをして交流をしていました。子供たちに説明するには難しさを感じましたが、子供たちが興味を持って聞いてくれることが多かったので、やりがいはありました。
留学を志す人へ	留学が自分にとって良いものになるか悪いものになるかは、自分の意志次第です。時間はあるように見えて、あっという間に過ぎて行きます。何も行動を起こさなければ、何も得られないです。あくまで自分が留学に来た究極の目的に沿って、積極的に行動することが大事だと私は感じました。毎日目的意識を持つことで、留学に来た意味というのが何倍にもふくれあがると思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業		
					図書館で 課題や宿題		ジム
午後	図書館で 課題や宿題	授業	図書館で 課題や宿題	授業	Language Table 文化交流会	サッカーの 試合	買い物
	ジム	ジム	授業	ジム			
夕刻	買い物(食)		サッカー サークルの 練習		サッカー サークルの 練習	自習	自習
夜	自習	自習	自習	自習	パーティや 会食 (不定期)		一週間の 準備や確認